

# 附録

## 1 写真・図表リスト

### (1) 写真リスト

番号	キャプション	提供
写真1 - 1	天園ハイキングコース	
写真1 - 2	鎌倉郡衙の建物跡（今小路西遺跡）	鎌倉市教育委員会
写真1 - 3	浄光明寺庭園の切岸	
写真1 - 4	鶴岡八幡宮	株式会社プレック研究所
写真1 - 5	建長寺	
写真1 - 6	円覚寺	株式会社プレック研究所
写真1 - 7	寿福寺	株式会社文化財保存計画協会
写真1 - 8	浄智寺	
写真1 - 9	浄妙寺	公益社団法人鎌倉市観光協会
写真1 - 10	和賀江嶋	株式会社プレック研究所
写真1 - 11	稲村ヶ崎	
写真1 - 12	鎌倉駅に向かう列車（明治時代）	鎌倉市教育委員会
写真1 - 13	若宮大路（明治時代）	鎌倉市教育委員会
写真1 - 14	関東大震災の様子	鎌倉市教育委員会
写真1 - 15	鎌倉国宝館（開設当時）	鎌倉市教育委員会
写真1 - 16	鎌倉国宝館（現在）	鎌倉市教育委員会
写真1 - 17	現在の御谷	
写真1 - 18	源頼朝像	
写真1 - 19	栄西禅師頂相	京都大本山建仁寺
写真1 - 20	北条政子坐像	安養院
写真1 - 21	北条時頼坐像	鎌倉市教育委員会（所蔵：建長寺）
写真1 - 22	蘭溪道隆像	鎌倉市教育委員会（所蔵：建長寺）
写真1 - 23	日蓮聖人像	浄永寺（小田原市）
写真1 - 24	木造無学祖元坐像	大田原市教育委員会（所蔵：雲巖寺）
写真1 - 25	良観房忍性坐像	鎌倉市教育委員会（所蔵：極楽寺）

番号	キャプション	提供
写真1 - 26	水戸光圀公之肖像	京都大学附属図書館
写真1 - 27	長與専斎	横浜開港資料館（所蔵：長與俊雄氏）
写真1 - 28	エルウィン・ベルツ胸像	東京大学大学院
写真1 - 29	久米正雄	鎌倉文学館（公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団）
写真1 - 30	川端康成	公益財団法人川端康成記念会
写真1 - 31	大佛次郎	大佛次郎記念館（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）
写真1 - 32	菅原通済	鎌倉市教育委員会
写真1 - 33	鶴岡八幡宮 上宮	
写真1 - 34	鶴岡八幡宮 摂社若宮	
写真1 - 35	鶴岡八幡宮 末社丸山稻荷社本殿	
写真1 - 36	鶴岡八幡宮 大鳥居（一の鳥居）	
写真1 - 37	荏柄天神社 本殿	株式会社プレック研究所
写真1 - 38	建長寺 山門	
写真1 - 39	建長寺 仏殿	
写真1 - 40	建長寺 法堂	
写真1 - 41	建長寺 唐門	
写真1 - 42	建長寺 昭堂	
写真1 - 43	円覚寺 舍利殿	株式会社プレック研究所
写真1 - 44	鎌倉大仏	株式会社プレック研究所
写真1 - 45	光明寺 本堂	
写真1 - 46	英勝寺 仏殿	
写真1 - 47	英勝寺 山門	
写真1 - 48	英勝寺 鐘楼	
写真1 - 49	英勝寺 祠堂門	
写真1 - 50	旧一条恵観山荘	一般財団法人 茶道宗徧流不審庵
写真1 - 51	旧石井家住宅	
写真1 - 52	旧川喜多邸別邸（旧和辻邸）	
写真1 - 53	浄光明寺 五輪塔	浄光明寺
写真1 - 54	極楽寺 忍性塔	鎌倉市教育委員会
写真1 - 55	安養院 宝篋印塔	
写真1 - 56	永福寺跡 三堂基壇	鎌倉市教育委員会

番号	キャプション	提供
写真1 - 57	建長寺庭園	株式会社文化財保存計画協会
写真1 - 58	面掛行列	
写真1 - 59	木遣唄	鎌倉市教育委員会
写真1 - 60	流鏝馬神事（鎌倉まつり）	公益社団法人鎌倉市観光協会
写真1 - 61	鎌倉彫	伝統鎌倉彫事業協同組合
写真1 - 62	鎌倉彫の工房（昭和34年（1959年））	鎌倉市教育委員会
写真1 - 63	鍛錬の様子	正宗工芸美術製作所
写真1 - 64	市内から出土した中世の生活用品	鎌倉市教育委員会
写真1 - 65	市内から出土した中世の漆器	鎌倉市教育委員会
写真1 - 66	まとめて出土したかわらけ	鎌倉市教育委員会
写真1 - 67	市内から出土した青磁椀	鎌倉市教育委員会
写真1 - 68	宗徧流の点前	茶道宗徧流不審庵
写真1 - 69	けんちん汁	鎌倉鉢の木
写真2 - 1	鶴岡八幡宮	株式会社プレック研究所
写真2 - 2	潮神楽	
写真2 - 3	若宮大路	
写真2 - 4	江ノ電	公益社団法人鎌倉市観光協会
写真2 - 5	鎌倉文学館（旧前田家別邸）	
写真2 - 6	鎌倉風致保存会の活動	公益財団法人鎌倉風致保存会
写真2 - 7	鶴岡八幡宮	株式会社プレック研究所
写真2 - 8	初詣（現在）	鶴岡八幡宮
写真2 - 9	初詣（昭和33年（1958年））	鎌倉市教育委員会
写真2 - 10	初日の出	公益社団法人鎌倉市観光協会
写真2 - 11	手斧始式	公益社団法人鎌倉市観光協会
写真2 - 12	除魔神事	鶴岡八幡宮
写真2 - 13	御判行事	鶴岡八幡宮
写真2 - 14	左義長行事	公益社団法人鎌倉市観光協会
写真2 - 15	ぼんぼり祭（昭和33年（1958年））	鎌倉市教育委員会
写真2 - 16	ぼんぼり祭（現在）	公益社団法人鎌倉市観光協会
写真2 - 17	浜降式	公益社団法人鎌倉市観光協会
写真2 - 18	神幸祭（境内）（現在）	鶴岡八幡宮

番号	キャプション	提供
写真2 - 19	神幸祭（境内）（昭和33年（1958年））	鎌倉市教育委員会
写真2 - 20	神幸祭（若宮大路）（現在）	
写真2 - 21	神幸祭（若宮大路）（昭和33年（1958年））	鎌倉市教育委員会
写真2 - 22	流鏝馬神事（例大祭）（昭和34年（1959年））	鎌倉市教育委員会
写真2 - 23	流鏝馬神事（例大祭）（現在）	公益社団法人鎌倉市観光協会
写真2 - 24	鎌倉宮	公益社団法人鎌倉市観光協会
写真2 - 25	銭洗弁財天	公益社団法人鎌倉市観光協会
写真2 - 26	銭洗弁財天（昭和33年（1958年））	鎌倉市教育委員会
写真2 - 27	荏柄天神社本殿	
写真2 - 28	神幸祭	
写真2 - 29	熊野新宮	
写真2 - 30	八雲神社（山ノ内）	
写真2 - 31	神輿の出会い	
写真2 - 32	女神輿（左）と男神輿（右）	
写真2 - 33	面の展示	
写真2 - 34	建長寺 仏殿	
写真2 - 35	建長寺 梵鐘	鎌倉市教育委員会
写真2 - 36	開山毎歳忌（建長寺）	建長寺
写真2 - 37	円覚寺 舍利殿	
写真2 - 38	円覚寺 妙香池	
写真2 - 39	開山国師毎歳忌（円覚寺）	円覚寺
写真2 - 40	宝物風入れ（円覚寺）	円覚寺
写真2 - 41	日曜坐禅会（円覚寺）	円覚寺
写真2 - 42	鎌倉えびす	公益社団法人鎌倉市観光協会
写真2 - 43	本えびす	公益社団法人鎌倉市観光協会
写真2 - 44	極楽寺 山門	
写真2 - 45	覚園寺 薬師堂	
写真2 - 46	長谷寺（長谷観音）	公益社団法人鎌倉市観光協会
写真2 - 47	光明寺（昭和36年（1961年））	鎌倉市教育委員会
写真2 - 48	光明寺（現在）	
写真2 - 49	お十夜	

番号	キャプション	提供
写真2 - 50	市街地を上空から望む	
写真2 - 51	和賀江嶋（昭和36年（1961年））	鎌倉市教育委員会
写真2 - 52	夕暮れの和賀江嶋（現在）	公益社団法人鎌倉市観光協会
写真2 - 53	史跡顕彰碑と和賀江嶋	公益社団法人鎌倉市観光協会
写真2 - 54	材木座漁師町（明治時代）	神奈川県立図書館
写真2 - 55	材木座での漁業（昭和36年（1961年））	鎌倉市教育委員会
写真2 - 56	わかめ干し	公益社団法人鎌倉市観光協会
写真2 - 57	坂ノ下のまち並み（路地）	
写真2 - 58	坂ノ下のまち並み（海を臨む）	
写真2 - 59	船おろし（材木座海岸）	
写真2 - 60	船祝い（腰越漁港）	
写真2 - 61	潮神楽（材木座海岸）	
写真2 - 62	ドンドンヤキ（材木座海岸）	
写真2 - 63	汐神楽（坂ノ下海岸）	
写真2 - 64	五所神社例祭	
写真2 - 65	神輿（小動岬付近）	
写真2 - 66	神輿（満福寺付近）	
写真2 - 67	石の道標	
写真2 - 68	力餅家	
写真2 - 69	鳥居前の踏切	公益社団法人鎌倉市観光協会
写真2 - 70	石上神社	
写真2 - 71	神輿と御供	
写真2 - 72	沖へ向かう神輿	
写真2 - 73	鎌倉神楽（御霊神社）	公益社団法人鎌倉市観光協会
写真2 - 74	猿田彦	
写真2 - 75	（左から）火吹男、阿亀、女、福祿寿	
写真2 - 76	面の10人	
写真2 - 77	若宮大路（明治時代）	鎌倉市教育委員会
写真2 - 78	若宮大路（昭和34年（1959年））	鎌倉市教育委員会
写真2 - 79	若宮大路	株式会社プレック研究所
写真2 - 80	湯浅物産館	
写真2 - 81	店舗天井・吹抜	
写真2 - 82	三河屋本店	

番号	キャプション	提供
写真2 - 83	トロッコ用レール	
写真2 - 84	まちなかを走る江ノ電	公益社団法人鎌倉市観光協会
写真2 - 85	七里ヶ浜に沿って走る江ノ電	公益社団法人鎌倉市観光協会
写真2 - 86	七里ヶ浜に沿って走る江ノ電(明治末~大正)	鎌倉市教育委員会
写真2 - 87	行合川を渡る江ノ電(昭和41年(1966年))	鎌倉市教育委員会
写真2 - 88	車窓から見える四季折々の草花	公益社団法人鎌倉市観光協会
写真2 - 89	100形車両(タンコロ)	江ノ島電鉄株式会社
写真2 - 90	鎌倉高校前駅に隣接する踏切	公益社団法人鎌倉市観光協会
写真2 - 91	極楽寺駅	公益社団法人鎌倉市観光協会
写真2 - 92	極楽洞	
写真2 - 93	由比ヶ浜(明治時代)	鎌倉市教育委員会
写真2 - 94	三橋旅館	中田孝信氏
写真2 - 95	海濱ホテル	鎌倉市教育委員会
写真2 - 96	鎌倉文学館(旧前田家別邸)	
写真2 - 97	旧諸戸邸(旧鎌倉市長谷子ども会館)	
写真2 - 98	関東大震災の様子	鎌倉市教育委員会(所蔵:鎌倉同人会)
写真2 - 99	榎亭	
写真2 - 100	扇湖山荘	
写真2 - 101	扇湖山荘から望む海	
写真2 - 102	鎌倉山の桜並木	
写真2 - 103	御成小学校旧講堂	
写真2 - 104	御成小学校校門の冠木門	
写真2 - 105	旧華頂宮邸	
写真2 - 106	古我邸(旧荘邸)	
写真2 - 107	旧神奈川県営湘南水道鎌倉加圧ポンプ所	
写真2 - 108	寸松堂	
写真2 - 109	白日堂	
写真2 - 110	野尻邸(旧大佛次郎茶亭)	
写真2 - 111	吉屋信子記念館	鎌倉市教育委員会
写真2 - 112	黒い板塀(窟小路)	
写真2 - 113	旧川喜多邸別邸	

番号	キャプション	提供
写真2 - 114	鐺木清方記念美術館	
写真2 - 115	朝夷奈切通	
写真2 - 116	亀ヶ谷坂	
写真2 - 117	大仏切通	
写真2 - 118	やぐら（北条氏常盤亭跡）	株式会社プレック研究所
写真2 - 119	やぐら（大町釈迦堂口遺跡）	
写真2 - 120	活動の様子	公益財団法人鎌倉風致保存会
写真3 - 1	朝夷奈切通	
写真3 - 2	和賀江嶋の清掃	
写真3 - 3	鎌倉市郷土芸能大会	鎌倉市教育委員会
写真5 - 1	史跡大町釈迦堂口遺跡の現状	
写真5 - 2	整備が完了した史跡永福寺跡	
写真5 - 3	整備が完了した歴史文化交流館の建物	
写真5 - 4	鎌倉風致保存会の活動の様子	公益財団法人鎌倉風致保存会
写真5 - 5	文化財所有者による消火訓練	鎌倉市教育委員会
写真5 - 6	消防隊による延焼防止放水訓練	鎌倉市教育委員会
写真6 - 1	整備した苑池	鎌倉市教育委員会
写真6 - 2	史跡永福寺跡 三堂	鎌倉市教育委員会
写真6 - 3	史跡永福寺跡 遺水	鎌倉市教育委員会
写真6 - 4	歩行者尊重道路	
写真6 - 5	整備イメージ（カラー舗装部分）	
写真6 - 6	県道21号（山ノ内）	
写真6 - 7	施工例（改修前）	
写真6 - 8	施工例（改修後）	
写真6 - 9	美装化予定の荏柄天神社参道	
写真6 - 10	道程を示す案内板など	
写真6 - 11	緑地維持管理事業の状況	
写真6 - 12	風致地区に位置する保存生け垣	
写真6 - 13	中学生に対する啓発活動	公益財団法人鎌倉風致保存会
写真6 - 14	下草刈り	公益財団法人鎌倉風致保存会
写真6 - 15	里山フェスタ（1）	
写真6 - 16	里山フェスタ（2）	
写真6 - 17	整備後建物外観（正面）	

番号	キャプション	提供
写真6 - 18	建物外観（谷戸の風景）	
写真6 - 19	発掘調査速報展	鎌倉市教育委員会
写真6 - 20	遺跡調査研究発表会	鎌倉市教育委員会
写真6 - 21	展示の様子（遠景）	
写真6 - 22	展示の様子（近景）	
写真6 - 23	史跡説明板整備（施行前）	
写真6 - 23	史跡説明板整備（施行前）	
写真6 - 24	史跡説明板整備（施行後）	
写真6 - 25	史跡大町釈迦堂口遺跡の崩落対策及び公開活用に向けた整備（施行前）	
写真6 - 26	修理中の屋根	鎌倉市教育委員会
写真6 - 27	修理後の屋根	鎌倉市教育委員会
写真6 - 28	国指定重要文化財光明寺本堂の修理（施行中・外観）	鎌倉市教育委員会
写真6 - 29	国指定重要文化財光明寺本堂の修理（施行中・内観）	
写真6 - 30	円覚寺 正統院 開山堂	
写真6 - 31	浄智寺 聖観音	鎌倉市教育委員会
写真6 - 32	発掘調査の様子	鎌倉市教育委員会
写真6 - 33	観光ルートの案内看板	
写真6 - 34	歴史的遺産等の説明看板	
写真6 - 35	観光資源等の案内看板	
写真6 - 36	鎌倉国宝館における文化財の公開	
写真6 - 37	鎌倉歴史文化交流館における文化財の公開	
写真6 - 38	建物の様子（正面入口）	
写真6 - 39	建物の様子（整備後内観）	
写真6 - 40	会場入口	鎌倉市教育委員会
写真6 - 41	鎌倉神楽	鎌倉市教育委員会
写真6 - 42	はやし獅子	鎌倉市教育委員会
写真6 - 43	祭ばやし	鎌倉市教育委員会
写真6 - 44	面掛行列の様子(1)	
写真6 - 45	面掛行列の様子(2)	
写真7 - 1	旧川喜多邸別邸(旧和辻邸)	



番号	キャプション	提供
写真 7 - 2	鎌倉国宝館	鎌倉市教育委員会
写真 7 - 3	鎌倉文学館(旧前田家別邸)	
写真 7 - 4	旧諸戸邸(旧鎌倉市長谷子ども会館)	
写真 7 - 5	旧華頂宮邸	
写真 7 - 6	御成小学校旧講堂	
写真 7 - 7	旧鎌倉図書館	
写真 7 - 8	扇湖山荘	
写真 7 - 9	吉屋信子記念館	鎌倉市教育委員会

※空欄は、市撮影

## (2) 図リスト

番号	キャプション	出典等
図序 - 1	計画策定フロー	
図 1 - 1	鎌倉市の位置	
図 1 - 2	丘陵地のつながり	
図 1 - 3	鎌倉市の地形・水系	
図 1 - 4	平成 25 年の年間気温の変動と年間降水量	参考「平成 26 年(2014 年)版 鎌倉の統計」
図 1 - 5	鎌倉市の植生	鎌倉市緑の基本計画
図 1 - 6	緑地指定等(緑地保全に係る法制度適用)の推移	鎌倉市緑の基本計画
図 1 - 7	鎌倉市の位置	
図 1 - 8	鎌倉市域の変遷	
図 1 - 9	鎌倉市の地域区分	
図 1 - 10	鎌倉市の交通網	
図 1 - 11	土地利用類型	鎌倉市都市マスタープラン
図 1 - 12	人口の推移	参考「国勢調査(昭和 55 年～平成 22 年)」、「人口統計調査(平成 26 年)」
図 1 - 13	町丁別人口の推移	鎌倉市都市マスタープラン白書 2011
図 1 - 14	年代別人口の推移	参考「国勢調査(昭和 55 年～平成 22 年)」、「住民基本台帳(平成 26 年)」
図 1 - 15	入込観光客数の推移	参考「鎌倉市の観光事情[平成 26 年度版]」

番号	キャプション	出典等
図1 - 16	街頭アンケート調査結果に基づく訪問先割合	参考「鎌倉市の観光事情[平成26年度版]」
図1 - 17	永福寺復元CG	制作：湘南工科大学
図1 - 18	相州鎌倉之図	鎌倉市教育委員会蔵
図1 - 19	文化財の体系	参考「文化庁ホームページ」
図1 - 20	鶴岡八幡宮における重要文化財（建造物）の配置（上宮、摂社若宮、末社丸山稻荷社本殿）	
図1 - 21	鶴岡八幡宮における重要文化財（建造物）の配置（大鳥居（一の鳥居））	
図1 - 22	荏柄天神社における重要文化財（建造物）の配置	
図1 - 23	建長寺における重要文化財（建造物）の配置	
図1 - 24	円覚寺における国宝（建造物）の配置	
図1 - 25	高德院における国宝（彫刻）の配置	
図1 - 26	光明寺における重要文化財（建造物）の配置	
図1 - 27	英勝寺における重要文化財（建造物）の配置	
図1 - 28	史跡・名勝、国宝（建造物・彫刻）、重要文化財（建造物）、景観重要建造物	
図1 - 29	史跡・埋蔵文化財包蔵地の範囲	鎌倉市教育委員会
図2 - 1	歴史的風致の構成	
図2 - 2	鶴岡八幡宮修営目論見絵図	鶴岡八幡宮蔵
図2 - 3	鶴岡八幡宮における祭礼・行事の市街地への広がり	
図2 - 4	建長寺伽藍指図	建長寺蔵
図2 - 5	円覚寺境内絵図	円覚寺蔵
図2 - 6	社寺における祭礼・行事の市街地への広がり	
図2 - 7	社寺における祭礼・行事にみる歴史的風致の範囲	
図2 - 8	史跡和賀江嶋指定範囲図	
図2 - 9	御霊神社境内図	
図2 - 10	面掛行列ルート図	

番号	キャプション	出典等
図2-11	海にまつわる伝統行事の市街地への広がり	
図2-12	海にまつわる伝統行事にみる歴史的風致の範囲	
図2-13	曾我物語を題材とした錦絵	鎌倉市教育委員会蔵
図2-14	鎌倉名所記	鎌倉市教育委員会蔵
図2-15	往時の雪ノ下・段葛の様子（「諸国道中金の草鞋」より）	「諸国道中金の草鞋. 19」国立国会図書館蔵
図2-16	若宮大路周辺の位置図	
図2-17	若宮大路周辺における商いにみる歴史的風致の範囲	
図2-18	江ノ電駅名の変遷	参考「江ノ電の100年」
図2-19	路線図の絵葉書（明治44年）	鎌倉市教育委員会蔵
図2-20	相州江のしま詣の図 七里が浜真景	藤沢市蔵
図2-21	ナンバープレート	
図2-22	江ノ電駅と周辺の主な社寺	
図2-23	周遊観光にはじまる「江ノ電」にみる歴史的風致の範囲	
図2-24	鎌倉山住宅地株式会社分譲地略図	「鎌倉山正史」
図2-25	別荘文化に関連する建造物	
図2-26	別荘文化に由来する歴史的風致の範囲	
図2-27	切通の位置	
図2-28	鎌倉風致保存会の活動場所	
図2-29	歴史的遺産と一体となった山稜の保全活動にみる歴史的風致の範囲	
図2-30	鎌倉市における歴史的風致とその位置	
図3-1	歴史的風土保存区域・風致地区等指定範囲	
図3-2	観光満足度	参考「鎌倉市の観光事情[平成26年度版]」
図3-3	上位・関連計画の関係	
図3-4	歴史的風致の維持向上の推進体制	
図4-1	鎌倉市における歴史的風致と重点区域	
図4-2	重点区域の範囲と史跡・名勝、国宝（建造物・彫刻）、重要文化財（建造物）	
図4-3	歴史的風土保存区域と重点区域	
図4-4	用途地域と重点区域	

番号	キャプション	出典等
図4-5	鎌倉風致地区と重点区域	
図4-6	高度地区、景観地区、風致地区と重点区域	
図4-7	古都鎌倉大景域	参考「鎌倉市景観計画」
図4-8	都市景観構造の体系	参考「鎌倉市景観計画」
図4-9	鎌倉市都市景観条例に基づく景観配慮協議の流れ	
図4-10	若宮大路・小町通り沿道の景観ガイドラインを策定	
図4-11	神奈川県屋外広告物条例に基づく屋外広告物の禁止区域	
図4-12	保存管理計画を策定している史跡・名勝と重点区域	
図5-1	鎌倉市にふさわしい博物館基本構想の「エコミュージアムの構築」の考え方	
図6-1	重点区域内等で実施する事業	
図6-2	市景観重要建築物等位置図	
図6-3	史跡永福寺跡位置図	
図6-4	扇湖山荘施工箇所図	
図6-5	歴史的風致形成建造物候補位置図	
図6-6	パークアンドライド駐車場位置図	
図6-7	鎌倉フリー環境手形	
図6-8	事業位置図	
図6-9	既設トイレ位置図	
図6-10	歴史的遺産を結ぶ散策ルート等のイメージ	
図6-11	若宮大路景観形成ガイドライン	
図6-12	小町通り景観形成ガイドライン	
図6-13	鎌倉市屋外広告物条例（案）概要	
図6-14	鎌倉風致保存会の主な活動の場所	
図6-16	記念誌の作成と配布	
図6-17	事業位置図	
図6-18	鎌倉の埋蔵文化財	
図6-19	混雑マップイメージ	
図6-22	事業位置図	
図6-23	面掛行列ルート図	

番号	キャプション	出典等
図 6 - 24	中学校社会科学習用	
図 6 - 25	小学校社会科学習 3・4 年生用	
図 7 - 1	歴史的風致形成建造物候補物件位置図	

※空欄は、市作成

### (3) 表リスト

番号	キャプション	出典等
表序 - 1	鎌倉市歴史的風致維持向上計画協議会名簿	
表序 - 2	歴史的遺産と共生するまちづくり推進検討委員会名簿	
表序 - 3	鎌倉市歴史的風致維持向上計画の検討経過	
表1 - 1	産業別就業人口	参考「国勢調査（平成12年～平成22年）」
表1 - 2	鎌倉幕府における歴代執権	
表1 - 3	指定等文化財の件数	
表1 - 4	鎌倉神楽保存会による鎌倉神楽の次第	
表2 - 1	神社における祭礼等一覧（歴史的風致に関わる主な祭礼等）	
表2 - 2	寺院における仏教行事等一覧（歴史的風致に関わる主な仏教行事等）	
表2 - 3	八雲神社（大町）初神楽での鎌倉神楽の次第	
表2 - 4	主な漁業と漁期	
表3 - 1	歴史的風土保存区域・歴史的風土特別保存地区の指定状況	
表3 - 2	鎌倉市郷土芸能保存協会 会員名簿（平成27年4月現在）	鎌倉市教育委員会
表4 - 1	風致地区の種別	
表4 - 2	風致地区における許可等の基準	
表4 - 3	保存管理計画策定済の史跡一覧	
表4 - 4	保存活用計画策定済の建造物一覧	
表5 - 1	鎌倉市文化財部職員数と専門職員数（令和3年4月1日現在）	
表5 - 2	鎌倉市文化財専門委員会 委員名簿（令和3年4月1日現在 敬称略）	
表5 - 3	史跡永福寺跡整備委員会 委員名簿（平成29年7月1日現在 敬称略）	
表6 - 1	対象地域	
表6 - 2	維持管理の優先順位の高い61緑地一覧	

※空欄は、市作成

## 2 参考資料

### (1) 指定・登録文化財(建造物等)、景観重要建造物、鎌倉市景観重要建築物等 (令和3年4月1日現在)

#### ア 国宝・重要文化財(建造物)

国宝(建造物)			
件名	指定年月日	所在地	所有者
円覚寺舍利殿	明治 32 年 4 月 5 日 昭和 26 年 6 月 9 日	山ノ内字瑞鹿山 436 番	円覚寺
重要文化財(建造物)			
件名	指定年月日	所在地	所有者
鶴岡八幡宮大鳥居(一の鳥居)	明治 37 年 8 月 29 日	由比ガ浜二丁目	鶴岡八幡宮
建長寺仏殿	大正 11 年 4 月 13 日	山ノ内字巨福山 8 番	建長寺
建長寺昭堂	大正 11 年 4 月 13 日	山ノ内字巨福山 26 番	建長寺
建長寺唐門	大正 11 年 4 月 13 日	山ノ内字巨福山 8 番	建長寺
建長寺大覚禪師塔	昭和 9 年 1 月 30 日	山ノ内字巨福山 28 番	建長寺
覚園寺開山塔	昭和 9 年 1 月 30 日	二階堂字平子 426 番	覚園寺
覚園寺大燈塔	昭和 9 年 1 月 30 日	二階堂字平子 426 番	覚園寺
極楽寺忍性塔	昭和 9 年 1 月 30 日	極楽寺三丁目 1036 番	極楽寺
浄光明寺五輪塔	昭和 13 年 8 月 26 日	扇ガ谷二丁目 266 番 3	浄光明寺
極楽寺五輪塔	昭和 28 年 8 月 29 日	極楽寺三丁目 1036 番	極楽寺
安養院宝篋印塔	昭和 29 年 3 月 20 日	大町三丁目 1210 番	安養院
旧一条恵観山荘(旧所在 京都府京都市北区西賀茂川上町)	昭和 39 年 5 月 26 日	浄明寺五丁目 106 番	(財)茶道宗徧流不審庵
鶴岡八幡宮末社丸山稻荷社本殿	昭和 42 年 6 月 15 日	雪ノ下二丁目 1051 番	鶴岡八幡宮
旧石井家住宅(旧所在 神奈川県鎌倉市関谷)	昭和 44 年 6 月 20 日	植木字植木谷戸 129 番	龍寶寺
鶴岡八幡宮摂社若宮	平成 8 年 7 月 9 日	雪ノ下二丁目 1051 番	鶴岡八幡宮
鶴岡八幡宮上宮	平成 8 年 7 月 9 日	雪ノ下二丁目 1051 番	鶴岡八幡宮
光明寺本堂	平成 11 年 12 月 1 日	材木座六丁目 854 番	光明寺
荏柄天神社本殿	平成 17 年 7 月 22 日	二階堂字荏柄 74 番	荏柄天神社
建長寺山門	平成 17 年 7 月 22 日	山ノ内字巨福山 8 番	建長寺
建長寺法堂	平成 17 年 7 月 22 日	山ノ内字巨福山 8 番	建長寺
英勝寺(仏殿、山門、鐘楼、祠堂、祠堂門)	平成 25 年 8 月 7 日	扇ガ谷一丁目 305 番	英勝寺

重要文化財（建造物）				
	件名	指定年月日	所在地	所有者
神奈川県指定	覚園寺本堂（薬師堂）	昭和 29 年 12 月 3 日	二階堂字平子 424 番	覚園寺
	長勝寺法華堂	昭和 44 年 5 月 20 日	材木座二丁目 2186 番	長勝寺
	建長寺西来庵唐門	昭和 46 年 3 月 30 日	山ノ内字巨福山 26 番	建長寺
	杉本寺観音堂	昭和 52 年 11 月 18 日	二階堂字杉本 903 番	杉本寺
	常楽寺仏殿	昭和 53 年 2 月 21 日	大船五丁目 1349 番	常楽寺
	旧内海家住宅	昭和 53 年 11 月 17 日	二階堂字平子 428 番	覚園寺
	円覚寺山門	平成 7 年 2 月 14 日	山ノ内字瑞鹿山 409 番	円覚寺
	光明寺山門	平成 13 年 2 月 13 日	材木座六丁目 854 番	光明寺
	旧神奈川県立近代美術館鎌倉館本館	平成 28 年 11 月 22 日	雪ノ下二丁目 1 番 53 号	鶴岡八幡宮
市指定	石造 板碑（弘長二年銘）	昭和 36 年 11 月 15 日	長谷三丁目 11 番 2 号	長谷寺
	石造 板碑（嘉元四年銘）	昭和 36 年 11 月 15 日	扇ガ谷四丁目 18 番 8 号	海蔵寺
	石造 宝篋印塔（応永十二年銘）	昭和 36 年 11 月 15 日	山崎字下河内 736 番	北野神社
	石造 宝篋印塔（明德三年銘・伝足利貞氏墓）	昭和 41 年 7 月 12 日	浄明寺三丁目 78 番	浄妙寺
	石造 宝篋印塔（正慶二年銘）	昭和 44 年 10 月 18 日	雪ノ下二丁目 1 番 1 号	鎌倉市
	石造 五輪塔（明德五年銘）	昭和 46 年 9 月 11 日	材木座六丁目 854 番	光明寺
	石造 宝篋印塔（明德四年銘）	昭和 46 年 9 月 11 日	由比ガ浜二丁目 1089 番	神奈川県
	石造 西方寺址石塔群	昭和 46 年 9 月 11 日	極楽寺二丁目 27 番 1	個人
	石造 宝塔	昭和 46 年 9 月 11 日	大町一丁目 1206 番	別願寺
	石造 宝篋印塔（文和五年銘）	昭和 46 年 9 月 11 日	寺分字上陣出 424 番	鎌倉市
	石造 板碑（弘長二年銘・不動種子刻）	昭和 46 年 9 月 11 日	材木座二丁目 282 番 2	五所神社
	石造 板碑（徳治三年銘・宝篋印塔刻）	昭和 46 年 9 月 11 日	長谷三丁目 11 番 2 号	長谷寺
	石造 五輪塔（順忍塔）	昭和 46 年 9 月 11 日	極楽寺三丁目 1035 番	極楽寺
	木造 円覚寺正統院開山堂	昭和 47 年 12 月 12 日	山ノ内字瑞鹿山 435 番	円覚寺
	木造 円覚寺正統院宿竜殿（附棟札）	昭和 47 年 12 月 12 日	山ノ内字瑞鹿山 435 番	円覚寺
	石造 石廟	昭和 48 年 4 月 11 日	大町七丁目 1655 番 1	個人
	石造 手水鉢	昭和 49 年 4 月 10 日	雪ノ下二丁目 1051 番	鶴岡八幡宮
	石造 供養塔	昭和 49 年 4 月 10 日	扇ガ谷三丁目 445 番	薬王寺
	石造 板碑	昭和 49 年 4 月 10 日	山ノ内字宮下小路 827 番	光照寺
	石造 板碑	昭和 49 年 4 月 10 日	扇ガ谷四丁目 18 番 8 号	海蔵寺
	石造 板碑（元徳四年銘）	昭和 50 年 10 月 14 日	扇ガ谷三丁目 445 番	薬王寺
	石造 宝塔	昭和 51 年 4 月 13 日	寺分一丁目 988 番	大慶寺
	木造 円覚寺正統院鐘楼	平成元年 10 月 12 日	山ノ内字瑞鹿山 435 番	円覚寺
木造 妙法寺表門	平成 7 年 10 月 13 日	大町四丁目 1896 番 2	妙法寺	
木造 浄光明寺阿弥陀堂	平成 8 年 10 月 18 日	扇ガ谷二丁目 280 番	浄光明寺	
木造 浄光明寺山門	平成 8 年 10 月 18 日	扇ガ谷二丁目 280 番	浄光明寺	



重要文化財（建造物）				
	件名	指定年月日	所在地	所有者
市指定	木造 常楽寺山門	平成 10 年 11 月 9 日	大船五丁目 1349 番	常楽寺
	木造 光明寺総門	平成 12 年 11 月 7 日	材木座六丁目 854 番	光明寺
	木造 熊野神社本殿	平成 16 年 11 月 17 日	大船 2033 番	熊野神社
	木造 鶴岡八幡宮末社白旗神社本殿及拝殿	平成 17 年 11 月 10 日	雪ノ下二丁目 1051 番 1	鶴岡八幡宮
	石造 宝塔	平成 17 年 11 月 10 日	坂ノ下 212 番 2	成就院
	木造 壽福寺仏殿	平成 20 年 11 月 27 日	扇ガ谷一丁目 180 番 1	壽福寺
	木造 妙本寺祖師堂	平成 28 年 2 月 17 日	大町一丁目 1129 番	妙本寺

## イ 史跡・名勝・天然記念物

史跡				
	件名	指定年月日	所在地	所有者
国指定	法華堂跡（源頼朝墓・北条義時墓）	平成 18 年 7 月 28 日	西御門	鎌倉市他
	日野俊基墓	昭和 2 年 4 月 8 日	梶原	国有地
	浄光明寺境内・冷泉為相墓	平成 19 年 2 月 6 日	扇ガ谷	浄光明寺他
	極楽寺境内・忍性墓	平成 20 年 3 月 28 日	極楽寺	極楽寺
	伝上杉憲方墓	昭和 2 年 4 月 8 日	極楽寺	個人
	稲村ヶ崎（新田義貞徒渉伝説地）	昭和 9 年 3 月 13 日	稲村ガ崎	鎌倉市他
	若宮大路	昭和 10 年 6 月 7 日	小町 御成町 由比ガ浜	神奈川県他
	浄智寺境内	昭和 41 年 2 月 28 日	山ノ内	浄智寺他
	寿福寺境内	昭和 41 年 3 月 22 日	扇ガ谷	寿福寺他
	永福寺跡	昭和 41 年 6 月 14 日	二階堂	鎌倉市他
	建長寺境内	昭和 41 年 9 月 12 日	山ノ内	建長寺他
	浄妙寺境内	昭和 41 年 11 月 2 日	浄明寺	浄妙寺他
	鶴岡八幡宮境内	昭和 42 年 4 月 24 日	雪ノ下 小町 材木座	鶴岡八幡宮他
	円覚寺境内	昭和 42 年 4 月 24 日	山ノ内 大船	円覚寺他
	覚園寺境内	昭和 42 年 6 月 22 日	二階堂	覚園寺他
	和賀江嶋	昭和 43 年 10 月 14 日	材木座	国有地
	朝夷奈切通	昭和 44 年 6 月 5 日	十二所	鎌倉市他
	亀ヶ谷坂	昭和 44 年 6 月 5 日	扇ガ谷 山ノ内	鎌倉市他
	巨福呂坂	昭和 44 年 11 月 29 日	雪ノ下	鎌倉市他
	仮粧坂	昭和 44 年 11 月 29 日	扇ガ谷 佐助 山ノ内 梶原	鎌倉市他
	瑞泉寺境内	昭和 46 年 11 月 8 日	二階堂	瑞泉寺他
	大仏切通	昭和 52 年 8 月 10 日	長谷 笛田 常盤	鎌倉市他
	北条氏常盤亭跡	昭和 53 年 12 月 19 日	常盤	鎌倉市他

史跡				
	件名	指定年月日	所在地	所有者
国指定	名越切通	昭和 41 年 4 月 11 日	大町	鎌倉市他
	明月院境内	昭和 59 年 2 月 9 日	山ノ内	明月院他
	東勝寺跡	平成 10 年 7 月 31 日	小町	鎌倉市他
	鎌倉大仏殿跡	平成 16 年 2 月 27 日	長谷	高德院他
	荏柄天神社境内	平成 17 年 7 月 14 日	二階堂	荏柄天神社他
	仏法寺跡	平成 18 年 7 月 28 日	極楽寺 坂ノ下	神奈川県他
	一升栴遺跡	平成 19 年 2 月 6 日	極楽寺	神奈川県他
	大町釈迦堂口遺跡	平成 22 年 8 月 5 日	大町	鎌倉市他
神奈川県指定	段葛	昭和 30 年 8 月 30 日	小町	鶴岡八幡宮
	百八やぐら(覚園寺)	昭和 36 年 7 月 4 日	二階堂	覚園寺
市指定	十一人塚	昭和 36 年 11 月 15 日	稲村ガ崎一丁目 453 番	鎌倉市
	内藤家墓地	昭和 37 年 9 月 11 日	材木座六丁目 858 番	光明寺
	瓜ヶ谷やぐら群	昭和 46 年 9 月 11 日	山ノ内字東瓜ヶ谷 1195 番	個人
	多宝寺址やぐら群	昭和 46 年 9 月 11 日	扇ガ谷二丁目 268 番 1	浄光明寺
	洗馬谷横穴群	昭和 46 年 9 月 11 日	関谷字下坪 373 番	(株)大宮自動車教習所
	千葉ヶ谷横穴群	昭和 49 年 4 月 10 日	御成町 22 番	個人
	大伴神主家墓所	平成 7 年 10 月 13 日	扇ガ谷二丁目 281 番外	浄光明寺
	番場ヶ谷やぐら群	平成 7 年 10 月 13 日	十二所字馬場 236 番 2	鎌倉市
	相馬師常墓やぐら	平成 8 年 10 月 18 日	扇ガ谷二丁目 299 番口、 参	鎌倉市

名勝				
	件名	指定年月日	所在地	所有者
国指定	建長寺庭園	昭和 7 年 7 月 23 日	山ノ内	建長寺
	円覚寺庭園	昭和 7 年 7 月 23 日	山ノ内	円覚寺
	瑞泉寺庭園	昭和 46 年 11 月 8 日	二階堂	瑞泉寺

天然記念物				
	件名	指定年月日	所在地	所有者
市指定	ビャクシン	昭和 38 年 7 月 17 日	雪ノ下二丁目 1051 番	鶴岡八幡宮
	イチョウ	昭和 38 年 7 月 17 日	二階堂 76 番	荏柄天神社
	マキ	昭和 38 年 7 月 17 日	二階堂 421 番	覚園寺

天然記念物				
	件名	指定年月日	所在地	所有者
市指定	オウバイ	昭和 38 年 7 月 17 日	二階堂 710 番	瑞泉寺
	カイドウ	昭和 38 年 7 月 17 日	長谷三丁目 648 番	光則寺
	ビャクシン	昭和 38 年 7 月 17 日	扇ガ谷一丁目 180 番	寿福寺
	ワビスケ	昭和 38 年 7 月 17 日	扇ガ谷一丁目 305 番	英勝寺
	トウカエデ	昭和 38 年 7 月 17 日	扇ガ谷一丁目 305 番	英勝寺
	コウヤマキ	昭和 38 年 7 月 17 日	山ノ内 1402 番	浄智寺
	ビャクシン	昭和 38 年 7 月 17 日	山ノ内 409 番	円覚寺
	オガタマノキ	昭和 47 年 12 月 12 日	二階堂 154 番	鎌倉宮
	ナツグミ	昭和 47 年 12 月 12 日	二階堂 421 番	覚園寺
	ツバキ	昭和 47 年 12 月 12 日	二階堂 421 番	覚園寺
	マキ	昭和 47 年 12 月 12 日	扇ガ谷二丁目 283 番	浄光明寺
	タチヒガン	昭和 47 年 12 月 12 日	山ノ内 1402 番	浄智寺
	ビャクシン	昭和 47 年 12 月 12 日	寺分一丁目 988 番	大慶寺
	ビャクシン	昭和 48 年 4 月 11 日	山ノ内 1402 番	浄智寺
	マキ	昭和 48 年 4 月 11 日	大町三丁目 1210 番	安養院
	マキ	昭和 48 年 4 月 11 日	雪ノ下二丁目 1051 番	鶴岡八幡宮
	ケヤキ	昭和 48 年 4 月 11 日	雪ノ下二丁目 1051 番	鶴岡八幡宮
	タブノキ	昭和 48 年 4 月 11 日	坂ノ下 152 番	御霊神社
	フユザクラ	昭和 48 年 4 月 11 日	二階堂 710 番	瑞泉寺
	クロガネモチ	昭和 48 年 4 月 11 日	材木座六丁目 854 番	光明寺
	ウスキモクセイ	昭和 48 年 4 月 11 日	山ノ内 409 番	円覚寺
	ビャクシン	昭和 49 年 4 月 10 日	小袋谷二丁目 721 番	成福寺
	イチョウ	昭和 49 年 4 月 10 日	大町一丁目 1126 番	妙本寺
	ビャクシン	昭和 49 年 4 月 10 日	山ノ内 409 番	円覚寺
	ヤマザクラ (市原虎の尾)	昭和 51 年 4 月 13 日	大町四丁目 1947 番	安国論寺
	シロシダレ	昭和 52 年 6 月 11 日	雪ノ下二丁目 1051 番	鶴岡八幡宮
サザンカ	昭和 52 年 6 月 11 日	大町四丁目 1947 番	安国論寺	
ビャクシン	平成 9 年 10 月 13 日	扇ガ谷二丁目 281 番	浄光明寺	
ビャクシン (イブキ)	平成 10 年 11 月 9 日	山ノ内 8 番	建長寺	

## ウ 登録有形文化財(建造物)

登録有形文化財				
	件名	告示年月日	所在地	所有者
国登録	鎌倉国宝館本館	平 12 年 5 月 25 日	雪ノ下二丁目	鎌倉市
	鎌倉文学館本館	平 12 年 5 月 25 日	長谷一丁目	鎌倉市
	鎌倉市長谷子ども会館洋館	平 18 年 11 月 9 日	長谷一丁目	鎌倉市

登録有形文化財

	件名	告示年月日	所在地	所有者
	鎌倉市長谷子ども会館蔵	平 18 年 11 月 9 日	長谷一丁目	鎌倉市
	旧華頂家住宅主屋	平 18 年 11 月 9 日	浄明寺二丁目	鎌倉市
	三河屋本店店舗兼住宅	平 18 年 11 月 9 日	雪ノ下一丁目	個人
	三河屋本店蔵	平 18 年 11 月 9 日	雪ノ下一丁目	個人
	寸松堂主屋	平 18 年 11 月 9 日	笹目町	個人
	寸松堂蔵	平 18 年 11 月 9 日	笹目町	個人
	かいひん荘鎌倉洋館 (旧村田家住宅洋館)	平 21 年 8 月 25 日	由比ガ浜四丁目	鎌倉興業株式会社
	高崎家住宅主屋	平 23 年 1 月 26 日	山ノ内字藤源治	個人
	田丸家住宅主屋	平 23 年 1 月 26 日	扇ガ谷二丁目	個人
	榑亭本館	平 25 年 12 月 24 日	鎌倉山三丁目	個人
	榑亭山門	平 25 年 12 月 24 日	鎌倉山三丁目	個人
	坂井家住宅和館	平 26 年 10 月 7 日	扇ガ谷四丁目	(公財) 鎌倉風致保存会
	坂井家住宅洋館	平 26 年 10 月 7 日	扇ガ谷四丁目	(公財) 鎌倉風致保存会
	日高家住宅主屋	平成 28 年 2 月 25 日	腰越五丁目	個人
	日高家住宅門及び塀	平成 28 年 2 月 25 日	腰越五丁目	個人
国 登 録	神霊教鎌倉錬成場霊源閣	平成 28 年 11 月 29 日	長谷三丁目	(宗) 神霊教
	神霊教鎌倉錬成場待合	平成 28 年 11 月 29 日	長谷三丁目	(宗) 神霊教
	神霊教鎌倉錬成場練塀	平成 28 年 11 月 29 日	長谷三丁目	(宗) 神霊教
	神霊教鎌倉錬成場門	平成 28 年 11 月 29 日	長谷三丁目	(宗) 神霊教
	鎌倉市立御成小学校旧講堂	平成 29 年 6 月 28 日	御成町	鎌倉市
	鎌倉市吉屋信子記念館主屋	平成 29 年 6 月 28 日	長谷一丁目	鎌倉市
	鎌倉市吉屋信子記念館門及び塀	平成 29 年 6 月 28 日	長谷一丁目	鎌倉市
	吉屋家住宅主屋	平成 29 年 6 月 28 日	由比ガ浜一丁目	個人
	旧吉原家別邸主屋	令和元年 12 月 5 日	佐助一丁目	個人
	旧田島屋材木店(古民家スタジオ・イシワタリ)主屋	令和元年 12 月 5 日	長谷一丁目	個人
	旧田島屋材木店(古民家スタジオ・イシワタリ)門及び塀	令和元年 12 月 5 日	長谷一丁目	個人
	田中・大野邸主屋	令和2年4月3日	扇ガ谷二丁目	個人
	旧太田家住宅主屋(宝善院三摩耶庵)	令和2年8月17日	腰越五丁目	(宗) 宝善院
	材木座公会堂	令和2年8月17日	材木座四丁目	(一社) 材木座自治連合会
	旧川喜多家別邸(石島家住宅)主屋	令和3年2月4日	雪ノ下一丁目	株式会社石島企画

## 登録有形文化財

件名	告示年月日	所在地	所有者
湯浅物産館	令和3年2月4日	雪ノ下一丁目	個人

## 工 景観重要建造物

## 景観重要建造物

件名	指定	所在地
旧川喜多邸別邸（旧和辻邸）	平22年9月1日	雪ノ下二丁目

## 才 鎌倉市景観重要建築物等

## 市景観重要建築物等

件名	指定	所在地
鎌倉文学館（旧前田家別邸）	平成2年10月1日	長谷一丁目
伊藤邸（旧望洋楼）	平成2年12月1日	—
篠田邸	平成3年3月1日	由比ガ浜二丁目
寸松堂	平成4年2月1日	笹目町
日本基督教団鎌倉教会会堂	平成4年3月30日	由比ガ浜二丁目
日本基督教団鎌倉教会付属 ハリス記念鎌倉幼稚園	平成4年3月30日	由比ガ浜二丁目
かいひん荘 鎌倉	平成4年8月1日	由比ガ浜四丁目
石川邸（旧里見弴邸）	平成6年2月1日	西御門一丁目
川合邸	平成7年1月1日	—
鎌倉聖ミカエル教会聖堂	平成7年1月1日	小町二丁目
鎌倉市長谷子ども会館（旧諸戸邸）	平成7年1月1日	長谷一丁目
白日堂	平成8年3月1日	長谷三丁目
小池邸	平成8年3月1日	大船二丁目
石島邸	平成9年3月1日	雪ノ下一丁目
旧安保小児科医院	平成9年3月1日	御成町
高野邸	平成10年4月1日	扇ガ谷一丁目
村上邸	平成11年12月1日	—
旅館対僊閣	平成12年10月1日	長谷三丁目
笹野邸	平成13年1月1日	佐助一丁目
のり真安齋商店	平成13年5月1日	長谷一丁目
三河屋本店	平成14年4月1日	雪ノ下一丁目
東勝寺橋	平成14年4月1日	小町三丁目
樺亭	平成15年3月31日	鎌倉山三丁目
湯浅物産館	平成15年3月31日	雪ノ下一丁目

去来庵	平成 16 年 3 月 31 日	山ノ内
ホテル ニューカマクラ	平成 16 年 3 月 31 日	御成町
平井家住宅・長屋門	平成 18 年 4 月 1 日	城廻
旧華頂宮邸	平成 18 年 4 月 1 日	浄明寺二丁目
野尻邸（旧大佛次郎茶亭）	平成 21 年 3 月 2 日	雪ノ下一丁目
加賀谷邸	平成 21 年 3 月 2 日	長谷一丁目
成瀬家住宅	平成 21 年 9 月 1 日	手広二丁目
極楽洞	平成 22 年 11 月 24 日	極楽寺二丁目
旧神奈川県営湘南水道鎌倉加圧ポンプ所	平成 31 年 3 月 22 日	長谷四丁目
旧三橋旅館蔵	令和 2 年 3 月 31 日	長谷二丁目
旧神奈川県営湘南水道鎌倉加圧ポンプ所	平成 31 年 3 月 22 日	長谷四丁目
旧三橋旅館蔵	令和 2 年 3 月 31 日	長谷二丁目
猪熊邸（旧武基雄自邸）	令和 2 年 10 月 9 日	極楽寺一丁目
萬屋本店	令和 3 年 9 月 2 日	長谷二丁目

## (2) 鎌倉ゆかりの小説家

時代	人物名	生没年
明治	いずみ きょうか 泉 鏡花	明治6年(1873年)～昭和14年(1939年)
	おおつか くすお こ 大塚 楠緒子	明治8年(1875年)～明治43年(1910年)
	くにきだ どっぼ 国木田 独歩	明治4年(1871年)～明治41年(1908年)
	しまざき とうそん 島崎 藤村	明治5年(1872年)～昭和18年(1943年)
	夏目 漱石	慶応3年(1867年)～大正5年(1916年)
大正	あくたがわ りゅうのすけ 芥川 龍之介	明治25年(1892年)～昭和2年(1927年)
	大佛 次郎	明治30年(1897年)～昭和48年(1973年)
	かさい ぜんぞう 葛西 善蔵	明治20年(1887年)～昭和3年(1928年)
	久米 正雄	明治24年(1891年)～昭和27年(1952年)
	長與 善郎	明治21年(1888年)～昭和36年(1961年)
	はやし ふぼう 林 不忘	明治33年(1900年)～昭和10年(1935年)
	ひろつ かずお 広津 和郎	明治24年(1891年)～昭和43年(1968年)
	まつだ たけ しまびと 松田 竹の嶋人	明治7年(1874年)～昭和14年(1939年)
昭和	川端 康成	明治32年(1899年)～昭和47年(1972年)
	こすぎ てんがい 小杉 天外	慶応元年(1865年)～昭和27年(1952年)
	島木 健作	明治36年(1903年)～昭和20年(1945年)
	じんざい きよし 神西 清	明治36年(1903年)～昭和32年(1957年)
	たかみ じゅん 高見 順	明治40年(1907年)～昭和40年(1965年)
	たちばら まさあき 立原 正秋	大正15年(1926年)～昭和55年(1980年)
	なかやま ぎしゅう 中山 義秀	明治33年(1900年)～昭和44年(1969年)
	はやし ふさお 林 房雄	明治36年(1903年)～昭和50年(1975年)
	ひさお じゅうらん 久生 十蘭	明治35年(1902年)～昭和32年(1957年)
	むらまつ しょうふう 村松 梢風	明治22年(1889年)～昭和36年(1961年)
	吉屋 信子	明治29年(1896年)～昭和48年(1973年)
	小林 秀雄	明治35年(1902年)～昭和58年(1983年)
	里見 弴	明治21年(1888年)～昭和58年(1983年)

人物は「鎌倉叢書(第三十巻) 現代鎌倉文士—ゆかりの小説家たち—」より抜粋

### (3) 条例・規則

#### 鎌倉市歴史的風致維持向上計画協議会条例

平成 27 年 3 月 30 日

条例第 61 号

(趣旨及び設置)

第 1 条 この条例は、地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（平成 20 年法律第 40 号。以下「法」という。）第 11 条第 1 項の規定に基づき、法第 5 条第 1 項の規定に基づく鎌倉市歴史的風致維持向上計画（以下「歴史的風致維持向上計画」という。）の作成及び変更に関する協議等を行うため、鎌倉市歴史的風致維持向上計画協議会（以下「協議会」という。）を設置し、その組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第 2 条 協議会の所掌事務は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 歴史的風致維持向上計画の作成及び変更に関する協議を行うこと。
- (2) 法第 5 条第 6 項の規定により意見を述べること。
- (3) 法第 5 条第 8 項の認定を受けた歴史的風致維持向上計画の実施に係る連絡調整を行うこと。
- (4) その他歴史的風致の維持及び向上に関し必要な事項について協議を行うこと。

(組織)

第 3 条 協議会は、委員 20 人以内をもって組織する。

2 委員は、法第 11 条第 2 項に掲げる者のうちから市長が委嘱し、又は任命する。

(任期)

第 4 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

3 前条第 2 項の規定による身分又は資格に基づいて委員に委嘱され、又は任命された者がその身分又は資格を失ったときは、委員を辞したものとみなす。

(委任)

第 5 条 この条例に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

付 則

この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。



鎌倉市歴史的風致維持向上計画協議会条例施行規則

平成 27 年 3 月 30 日

規則第 53 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、鎌倉市歴史的風致維持向上計画協議会条例（平成 27 年 3 月条例第 61 号）第 5 条の規定に基づき、鎌倉市歴史的風致維持向上計画協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(会長等)

第 2 条 協議会に会長及び副会長各 1 人を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 3 条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、その議長となる。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(会議の公開)

第 4 条 会議は、公開とする。ただし、会長が公開することが適当でないと認めたときは、これを公開しないことができる。

(意見の聴取)

第 5 条 協議会は、その所掌事務について必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(幹事)

第 6 条 協議会に幹事 10 人以内を置く。

2 幹事は、市職員のうちから市長が任命し、協議会の所掌事務について、委員を補佐する。

(庶務)

第 7 条 協議会の庶務は、この協議会の所掌事務を所管する課等において処理する。

(その他の事項)

第 8 条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

付 則

この規則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

#### (4) 参考文献

- ・「鎌倉市史 近世通史編」 鎌倉市 鎌倉市市史編さん委員会 平成2年(1990年)
- ・「鎌倉市史 近代通史編」 鎌倉市 鎌倉市市史編さん委員会 平成6年(1994年)
- ・「図説鎌倉歴史散歩」 佐藤和彦・錦昭江 河出書房新社 平成5年(1993年)
- ・「史跡鶴岡八幡宮境内保存管理計画書」 鎌倉市教育委員会 昭和63年(1988年)
- ・「史跡若宮大路保存管理計画書」 鎌倉市教育委員会 平成18年(2006年)
- ・「史跡荏柄天神社境内保存管理計画書」 鎌倉市教育委員会 平成19年(2007年)
- ・「史跡建長寺境内・名勝及史跡建長寺庭園保存管理計画書」 鎌倉市教育委員会 平成18年(2006年)
- ・「史跡覚園寺境内保存管理計画書」 鎌倉市教育委員会 平成19年(2007年)
- ・「史跡永福寺跡保存管理計画書」 鎌倉市教育委員会 昭和53年(1978年)
- ・「史跡法華堂跡(源頼朝墓・北条義時墓)保存管理計画書」 鎌倉市教育委員会 平成19年(2007年)
- ・「史跡和賀江嶋保存管理計画書」 鎌倉市教育委員会 平成18年(2006年)
- ・「史跡朝夷奈切通他保存管理計画書」 鎌倉市教育委員会 平成20年(2008年)
- ・「史跡浄光明寺境内・冷泉為相墓保存管理計画書」 鎌倉市教育委員会 平成20年(2008年)
- ・「史跡寿福寺境内保存管理計画書」 鎌倉市教育委員会 平成20年(2008年)
- ・「史跡極楽寺境内・忍性墓保存管理計画書」 鎌倉市教育委員会 平成20年(2008年)
- ・「史跡円覚寺境内・名勝及史跡円覚寺庭園保存管理計画書」 鎌倉市教育委員会 平成22年(2010年)
- ・「かまくら子ども風土記(第13版)」 鎌倉市教育委員会 鎌倉市教育センター 平成21年(2009年)
- ・「鎌倉の民俗」 大藤ゆき 株式会社かまくら春秋社 昭和52年(1977年)
- ・「鎌倉・横須賀・三浦・逗子・葉山の神社―三浦半島127社案内―」 神奈川県神社庁鎌倉横須賀三浦連合支部神社案内冊子委員会 文明堂印刷株式会社代表取締役 渡辺隆路 平成26年(2014年)
- ・「江ノ電の100年」 江ノ島電鉄株式会社 開業100周年記念誌編纂室 平成14年(2002年)
- ・「鎌倉市景観重要建築物等指定調査報告書」 鎌倉市都市景観課 平成25年(2013年)
- ・「昭和初期の理想郷 ―古き良き鎌倉山の姿―展」 鎌倉山住宅地研究会 鎌倉中央図書館近代史資料室 平成24年(2012年)

- ・「昭和初期の別荘地開発と住宅地形成に関する研究 ―鎌倉山住宅地開発にみる住文化の継承と変容―」 赤松加寿江・片山伸也・水沼淑子・奥山信治 住総研研究論文集No. 38 2011年版 平成23年(2011年)
- ・「鎌倉山のまちづくり計画」 鎌倉山町内会 平成12年(2000年)
- ・「鎌倉山正史」 米山尚志 有限会社玄同社 平成7年(1995年)
- ・「鎌倉文学館資料シリーズ4 鎌倉文学散歩長谷・稲村ガ崎方面」 鎌倉文学館 鎌倉市教育委員会 平成11年(1999年)
- ・「鎌倉別荘物語―明治・大正期のリゾート都市―」 島本千也 平成5年(1993年)
- ・「鎌倉彫会館」 鎌倉彫教授会 No.319(平成9年(1997年)), No.324・329・330・331(平成10年(1998年)), No.407(平成17年(2005年))
- ・「カラーボックス 855 鎌倉の年中行事」 大三輪龍彦・松尾順三 株式会社保育社 平成5年(1993年)
- ・「現在の鎌倉」 大橋良平 通友社 明治45年(1912年)
- ・「古都保存法三十年史」 財団法人古都保存財団 平成9年(1997年)
- ・「新版絵草紙シリーズVI十返舎一九の箱根江の島鎌倉道中記」 鶴岡節雄 千秋社 昭和57年(1982年)
- ・「叢談 鎌倉山」 不動健治 鎌倉山風致保存会 昭和46年(1971年)
- ・「武家の古都鎌倉」世界遺産登録推進企画展鎌倉めぐり」 神奈川県立金沢文庫 平成24年(2012年)
- ・「鎌倉市景観計画」 鎌倉市景観部都市景観課 平成19年(2007年)
- ・「鎌倉市緑の基本計画」 鎌倉市景観部みどり課 平成23年(2011年)
- ・「鎌倉叢書(第30巻)現代鎌倉文士」 鹿児島達雄 (株)かまくら春秋社 昭和59年(1984年)
- ・「文学都市かまくら100人」 財団法人鎌倉市芸術文化振興財団鎌倉文学館 平成17年(2005年)

# 鎌倉市歴史的風致維持向上計画

平成 27 年 12 月

令和 3 年 12 月（改訂/増補）

編集・発行 鎌倉市 都市景観部都市景観課

〒248-8686 鎌倉市御成町 18-10

電話番号：0467-23-3000

<http://www.city.kamakura.kanagawa.jp>